

利賀トンネル（仮称）延長4,963m 貫通映像を公開します

利賀ダム本体建設工事に必要な工事用道路区間のうち、最も長い利賀トンネル（仮称）の第1工区（清水建設（株）施工 延長1,368m）と第2工区（大成建設（株）施工延長2,394.7m）の区間が令和8年2月3日に貫通しましたので、貫通時の状況を映像配信します。※現場内の保安上の理由から関係者のみの立会とさせていただきます。

なお、利賀トンネル（仮称）は、当面の間、ダム工事専用道路として利用するため、一般の方の通行はできません。

将来的には必要な安全設備を整備した後に一般の方が通行可能な道路とする計画です。

1. 利賀トンネル（仮称）貫通掘削作業映像配信URL・QRコード

国土交通省 利賀ダム工事事務所YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCSh6JqchktwZufKVq2WH0Jg>

トンネル貫通作業以外の動画もございます。是非ご覧ください。



工事関係者で記念撮影



工事関係者で万歳三唱

2. その他

- 利賀トンネル（仮称）の概要については、次頁の参考資料をご覧ください。

お問い合わせ先



副所長(技術) 河村 陽一 Tel: 0763-33-4701(代表)
工事課長 井田 聡

国土交通省 北陸地方整備局 利賀ダム工事事務所
〒939-1363 砺波市太郎丸1-5-10 <https://www.hrr.mlit.go.jp/toga/>



利賀トンネル(仮称)とは

利賀ダム工事用道路兼、一般国道471号利賀バイパス(約9.2km)の一部で南砺市利賀村長崎～押場間に建設する延長4,963mのトンネルです。

利賀ダム建設事業中は資機材や発生土砂等を運搬するため、工事関係車両の専用道路として使用し、将来的には必要な安全設備を整備した後に一般国道471号利賀バイパスとして利用されるものです。

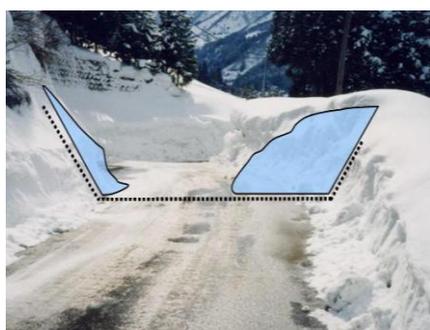
なお、富山県内の道路トンネル延長としては3番目の長さとなります。

黒部トンネル(関西電力:10,193m)、袴腰トンネル(東海北陸自動車道5,932m)

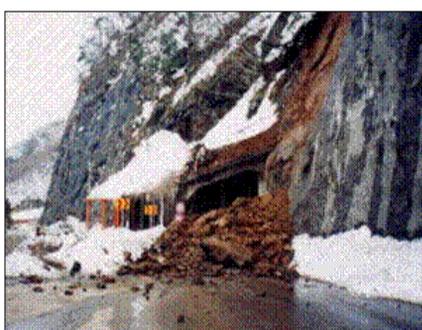
利賀ダム工事用道路は、一般国道471号利賀バイパスと兼ねており北陸地方整備局と富山県が共同で事業を進めています。



現在の一般国道471号



積雪等により2車線が確保できない



土砂崩れ



雪崩

地域振興に寄与

現在の一般国道471号は、急勾配、急カーブが連続するうえ幅員も狭く、降雨や降雪による通行規制が生じる道路です。バイパス供用によって、地域振興や主要産業の一つである観光の発展に大きく寄与することが期待されます。

防災機能の向上

利賀バイパスは、全区間約9.2kmのうち66%がトンネルであるため気象の変化に関係なく、安全に走行が可能となります。また、救急医療施設までの到達時間が短縮されます。